

私のこだわり

水沢 松永 佳文さん

108



手カンナの一部分を紹介しす

「淡路の夕凧」、「古都の夕霧」、「露風」、「乱菊」など多数あります。鮑の刃は使い込んで無くなる運命ですが、名工と呼ばれる人の鮑は観賞・美術品としても価値のあるもので、近県からも見に来て下さる方もおります。

私は祖父・父と続く金物を販売しています。そんな私のこだわりは3つあります。

1つ目は、私の自慢のシヨーウインドウに並んでいる数十点の「手カンナ」です。今ではなかなか手に入らない「千代鶴貞秀」制作のものがあります。

ここで「千代鶴貞秀」について紹介します。若き神吉義良（かみよしのりよし）は、兵庫県三木市で腕の良い鍛冶職人でした。そこで師匠である「千代鶴貞秀」の作品に魅せられ、師のもとに通い続けました。そして18年後、ついに貞秀に認められ「千代鶴貞秀」の号を賜りました。

私のシヨーウインドウに飾られている鮑は、全国でも数点しかない「比

研ぎへの思い

3つ目はこだわりと言うよりの趣味の「武道」です。私は剣道と杖道（じょうどう）、息子は剣道と居合いを親子で励んでいます。子と共に仕事や趣味などの共通の話題で進歩していけたらと思っています。

二つ目のこだわりは「研ぎ」です。どんな刃物も研ぎがうまくいかないと、スパツとした切れ味が出ません。私の息子は、越前手打ち刃物の鍛冶場（福井県）で修行してきました。研ぎに對する思い入れは親子とも強いです。今はお客様が持ち込む包丁1本1本心を込めて丁寧に研いでいるので、研ぎを重ねて包丁が小さく形が無くなるまで使ってもらえたら嬉しいです。

2011年に盛岡建設労働組合（盛岡組合）の執行委員、2015年から岩手県建設労働組合連合会（県連）の執行委員で共済財政部長に就任して、4期8年の月日が経過しました。就任当時の県連の財政状況はほとんど余裕がなく、20年前より2500人も組合員が減少しているにも関わらず、支出の内容は全くと言っていい程変わりが無い危機的な状況でした。

そんな時に全建総連への分担金の値上げが決定。県連組合費の値上げに踏み切りました。ただ、組合員への負担を軽減させるわけにはいかないとはい、県連役員への活動費、会議費の削減に取り組まれました。この間、全建総連の会計監査（3期3年）を経験させて頂きました。

会計監査は「年3回の監査があるくらい」と聞き、軽い気持ちで引き受けました。実際には年5回の中央執行委員会への出席が義務で、中央執行委員会での監査報告が年1回、合計8回の参加でした。

ただ会計監査に就任し、普段は行く事が難しい国會議員要請、日比谷公園での中央決起集会に参加した事で、組合の仕組みや流れが分かりました。2019年には熊本県で行われた全建総連の大会で、約1200人の前で緊張しながら監査報告を行いました。

みなさんに感謝 組合・県連そして全国へ

さて、2月19日に行われた盛岡組合の定期大会で、定年により盛岡組合と県連の役員を退任しました。みなさんのご協力のおかげで無事に退任する事が出来ました。県連財政部長・全国会計監査を経験させて頂いた事が、私の組合活動に役立ち感謝しています。「役員としてみる組合活動」は違う景色が見えるので、組合員の皆様の中で興味がある方は、役員になってみるのはいかがでしょうか。



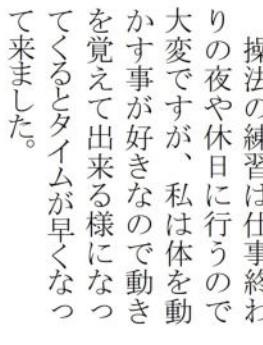
岩手県連共済財政部長と全国会計監査を経験して違う景色が見れましたと語ってくれた木皿義倫さん

【盛岡 木皿記】

仲間には宝

青年部 青通

私は西和賀町内の消防団に入団しています。入団したきっかけは、父が入団していてその父と入れ替わる形で入る事になりました。消防団員となって数年余り活動に参加してはいたのですが、2019年から消防操法大会のメンバーになりました。操法の練習は仕事終わりの夜や休日に行うので大変ですが、私は体を動かす事が好きなので動きを覚えて出来る様になってくるとタイムが早くなってきました。



昨年、コロナの影響で中止していた操法大会が3年ぶりに実施される事になり、動きを思い出しながら練習を行いました。大会当日は緊張していましたが、大きなミスもなく終了。町大会で優勝という結果を残しました。社会人となって仕事をしながら、競技に出る事があまりなかったのですが、良い経験となりました。今年に入り様々な行事が復活し、集まる場面が増えていくと思うので、積極的に参加していきたいです。

【西和賀青年部 高橋（和）記】

この1枚 ナイスショット



秋田県田沢湖近くの「山のはちみつ屋」さんで発見。物珍しさと興味本位でガチャガチャ。なんとあたり（アカシヤ国産）と当たりをダブルで引きました。（県連事務局より投稿）

3・4月行事予定

- ☆3月 23日 第2回 岩手県連 三役会議（盛岡）
- 第3回 労働保険 事務組合連合会 岩手県支部理事会（盛岡）
- ☆4月 4日 全国技術対策 活動者会議（東京）
- 6日、7日 中建国保 令和5年度 支部事務局長会議（石川）

編集後記

☆新型コロナウイルスが日本で確認されて、3年が経ちました。この間、ワクチン接種が進み現在は感染者も落ちついてきましたが、まだまだ「終息」にはいたっていません。☆昨年頃から、徐々にではあります色が々と制限されています。少しづつ活動が再開して行く事は嬉しい限りです。☆しかしながら、今年はいんフルエンザの感染が拡大している事や、花粉の飛散量が全国的に（岩手含む）多いと予想されています（一部地域では減少）。新型コロナについても、再度感染拡大の波が来るかもしれない。☆政府は、段階的にマスクを着用しなくても良いと発表していますが、しばらくはつけ続けようと思います。（章）